

三和建設株式会社

所在地 大阪府大阪市淀川区木川西2-2-5

従業員数 200人

事業内容 総合建設業

(令和7年7月末現在)

健康経営に取り組むようになったきっかけ

2012年当時の社内では、他社競合もあり厳しい工程を顧客から求められる中で残業、休日出勤は止むを得ないという空気が大勢を占めていました。特に作業所勤務社員の労働実態は厳しく、振替休日も完全取得とは程遠い現実がありました。また、健康診断で再検査の指示が出ても再検査に行くことも難しい状況もありました。

しかしながら、「つくるひとをつくる®」という、ひと本位主義の経営理念を定めた際に、長時間労働は果たして社員やその家族のためになるのかという議論が端緒となり、社員のワークライフバランスの向上のために、2013年にグループリーダー以上の幹部約20名で「総労働時間削減プロジェクト」を立ち上げたのがきっかけで、まずは長時間労働の削減に取り組み、有給休暇取得の奨励、健康診断再検査受検の徹底、安心して働ける環境作りのための医療費補助、心療内科医との法人契約に基づくリワークプログラムへの取組など、社員の声も反映させながら社員の働く環境の整備とともに、心身の健康のための各種の取組を行ってきました。

特に力を入れた取り組みとその効果

経営理念「つくるひとをつくる®」の基、「ひと本位主義」を標榜し、社員のフィジカル面、メンタル面に留意した健康経営の取り組みを行っております。効率的な業務運営の意識が醸成される中、ペーパーレス化を進め、RPA、Google Workspaceの導入でルーティンワークの自動化など業務効率の大幅な改善を実現しました。20時以降の残業を原則禁止とし、パソコンの自動シャットダウンを導入しています。

自身や家族の誕生日に休暇が取れるアニバーサリー休暇制度や健康診断結果が前年度よりも改善された社員には奨励金制度、高額医療費の自己負担を実質的にゼロとする制度、健保適用外の高度先進医療費を会社負担とする制度の導入と社員が安心して働ける環境を整備しています。

自社だけではなく「建設現場から熱中症をなくす」という目標も掲げ2021年からはスティック状で、手軽に塩分と水分を補給できるしおゼリーの一般販売を開始しました。これからも継続的に健康課題を把握し解決するための施策を実行します。



毎朝行われるラジオ体操講座



自社開発の熱中症対策「しおゼリー」

ホームページ

<https://www.sgc-web.co.jp>